

「環境にも手肌にもやさしい という願いから生まれた



コープの洗剤といえば「セフター」。こうイメージされる組合員もた商品の先駆けで、1969年に組合員参加型として生まれました。という願いが込められています。発売から今年で55周年。洗浄力とは進化を続けています。

生協の、生協による 組合員のための洗剤

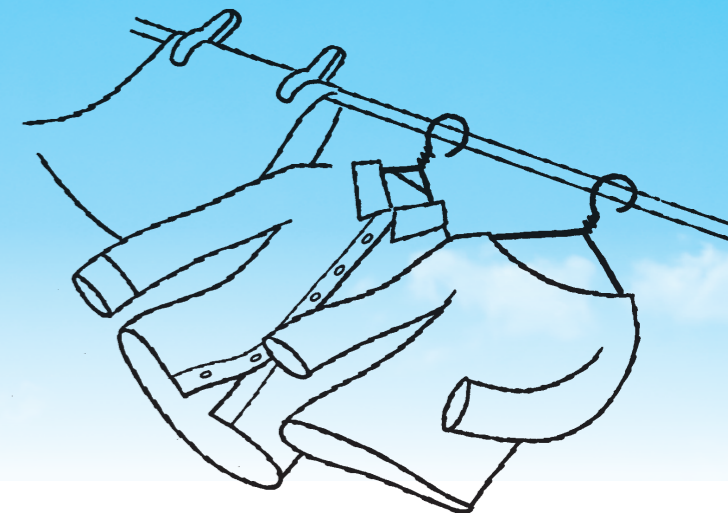
1960年代に家庭に洗濯機が普及し、強い洗浄力を発揮する石油由来の合成洗剤が使われるように。生活排水による川や海の水環境が悪化し、社会問題になりました。このような背景から、日本生活協同組合連合会（日本生協連）は、組合員6,000人を対象に「洗剤の利用実態アンケート」を実施。これら組合員の声を受け、1966年にセフターの前身となる生協初の洗剤「コープソフト」が生まれました。その後研究を重ね、1969年に高級アルコール系界面活性剤をつかった「CO・OPセフター」が誕生しました。

さらに、主原料を植物成分のパーム核油に変更。その後も「無リン化」や容器の「カートンボックス」化などリニューアルしています。

株式会社コープクリーンは、1978年に日本生協連と旭電化工業株式会社（現 株式会社ADEKA）の出資により、生産工場を持たず、研究開発から販売までを担う日本生協連の関連会社として設立。セフターの洗浄力の向上はもちろん、より環境に配慮した洗剤をめざして改良を重ねています。

洗剤を作りたい、 「CO・OPセフター」

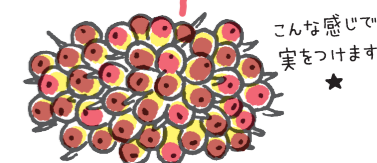
多いのではないのでしょうか？生協の環境に配慮し名前の由来は英語のSafe。「安全(Safe)・安心」と環境の両方を大切にしながら、「セフター」シリーズ



1 洗浄成分に植物原料を使用

セフターは洗浄成分の一部にアブラヤシの実から採れるパーム核油を使用しています。主に実の果肉は食用油に使われ、洗剤には種(核)の部分を使用しています。

※粉末洗剤・液体洗剤には、それぞれの特性にあった主洗浄成分を採用。そのため、アブラヤシ成分の割合には違いがあります。



2 エコなパッケージ

大容量詰め替え品において、紙パックを採用。プラスチックの削減にも取り組んでいます。

【パッケージの歴史】

1974年 容器の簡素化に注目。実験展開。 	1984年 コープ初めつめかえ容器ピローパックを採用した商品を発売。 	1991年 コープとして初めてのつめかえ紙容器バックインカートン誕生。 	2000年 カートンボックス誕生！
-------------------------------------	--	---	---------------------------------

3 「蛍光剤不使用」「着色剤無配合」

セフターは不要な添加剤を入れません。生成りやデニムなどの自然な色合いが長持ちします。



これからも組合員さんの声に応えながらより良い商品づくりをめざします

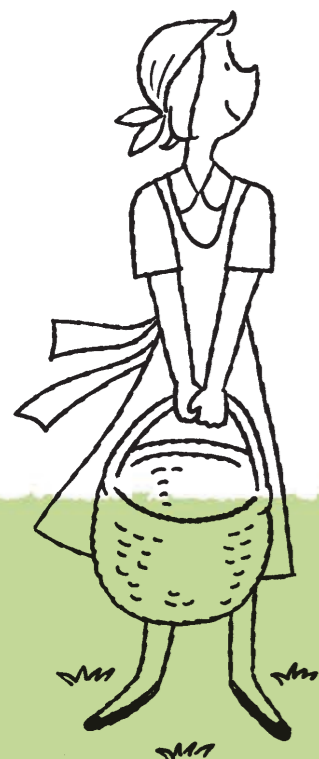
洗浄成分の原料から商品が使われて排水されるまでを考え、組合員さんのお声によって生まれた「セフター」。私たちはこれからも改善を続けていきます。ぜひ毎日の洗濯にご利用ください。

(株式会社コープクリーン おおなまこと 大中 真琴さん)



セフターの種類については...

発売から今年で55周年 「セフター」進化の歴史



- 1969年** 『セフター』誕生
従来のLASより自然界で分解されやすい成分を採用。
- 1972～75年** 蛍光剤無配合に(1975年 液体セフター誕生)
- 1980年** セフター改良「無リン化」
琵琶湖条例の制定を受け実現
- 1983年** 主原料を石油から「植物原料(パーム核油)」へ
洗浄成分の主原料を石油から再生産可能な植物原料
- 2000年** 紙パック誕生！
つめかえ紙パックは、コープが先がけて洗剤に採用
- 2024年** セフターE・セフター漂白剤入りの製法を見直し
製造時のCO₂を大幅に削減

組合員が名づけ親！
「=安全な」から♪
(Safe)

すっきり
収納でき、
つめかえやすい♪

コープの洗剤環境寄付キャンペーン 2024年度キャンペーン期間 2024年5月21日～2025年5月20日(通年)



持続可能なパーム油の生産などを支援する活動につながります。対象商品1品につき、0.5円が「WWFジャパン」に寄付され、持続可能なパーム油の生産などを支援する活動につながります。



0.5円を
WWFジャパン
に寄付



※アブラヤシの無秩序な農園開発が森林喪失の原因になっています。